

# 越前 蟹と水仙の文学コンクール 入賞者 大賞作品

テーマ 家族

## 俳句部門(小学生の部)

**大賞**  
城崎小学校 三年 荒川 華美  
「あらうみでかにとる父をまちわびる」

**奨励賞**  
織田小学校 二年 泉 初音  
惜陰小学校 六年 友 廣 朱 里

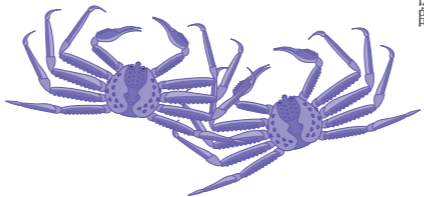
**佳作**  
糸生小学校 四年 渡 辺 友 香  
四ヶ浦小学校 二年 寺 田 力 翔  
四ヶ浦小学校 五年 中 橋 久 遠  
朝日小学校 五年 千 代 翔 太  
四ヶ浦小学校 六年 畑 美 菜 子

## 俳句部門(中学生の部)

**大賞**  
朝日中学校 一年 久 保 亮 輔  
「越前ガニ食べてふかまる家族愛」

**奨励賞**  
朝日中学校 三年 齋 藤 友 実  
朝日中学校 三年 齊 藤 杏 奈

**佳作**  
川越市立福原中学校三年 清 野 桃 花  
越前中学校 三年 浜 谷 未 来  
朝日中学校 三年 前 田 拓 也  
武生第三中学校 二年 山 口 梨 絵  
朝日中学校 一年 近 江 優 月



その蟹をとつてくれる漁師  
その漁師の顔も  
紅に染まっていた  
仕事から帰ってきた父  
父の顔もやはり  
紅に染まっていた  
そして僕も鏡を見ると  
やっぱり僕の顔も  
紅に染まっていた  
そして今夜の主役  
蟹

いいぐあいゆで上がった  
その蟹もやはり  
紅に染まっていた  
紅に染まった蟹を  
僕にとつて紅は  
幸せの色になっていた

**奨励賞**  
武生第三中学校 二年 山 口 梨 絵  
越前中学校 二年 中 西 凌

**佳作**  
鯖江中学校 三年 友 廣 勇 介  
越前中学校 二年 島 田 和 実  
越前中学校 一年 北 川 己 都 海  
越前中学校 二年 河 邊 愛 須 花  
越前中学校 二年 笠 原 さ つ き

## 詩部門(高校生の部)

**大賞**  
大阪市立扇町総合高校 二年 小 泉 り か こ  
「高校生のころの母へ」

## 俳句部門(高校生の部)

**大賞**  
丹生高等学校 一年 酒 井 仁 美  
「祖母からの冬のお手紙水仙花」

**奨励賞**  
奈良学園高等学校 三年 西 紘 毅  
仁愛女子高等学校 三年 齋 藤 真 由 香

**佳作**  
福井商業高等学校 一年 祝 井 麻 名  
福井商業高等学校 二年 白 崎 真 美 子  
仁愛女子高等学校 三年 仲 下 未 憂  
丹生高等学校 二年 石 田 知 美  
仁愛女子高等学校 一年 高 橋 梨 菜

## 俳句部門(一般の部)

**大賞**  
福井県福井市 久 我 八 千 代  
「蟹漁師継ぐ成人の日の長子」

**奨励賞**  
群馬県前橋市 鈴 木 き よ え  
京都府福知山市 堀 蒼 浪

**佳作**  
福井県坂井市 五十嵐 道 夫  
神奈川県横浜 竹 澤 聡  
福井県敦賀市 大 和 田 康 夫  
福井県敦賀市 中 井 一 雄  
神奈川県厚木市 北 村 純 一

母は、悲しく笑っていた  
懐かしい、と笑っていた  
蟹類張りながら、  
子供のころにも食べたと言った  
ある時、  
私は、旅した  
母の母校へと足を進めた  
門前で空を見上げた  
高校の前で切なくなつた  
高校生の私  
高校生だった母

難しい母は、この道を通つたのだらうか  
無口な母は、この道を友と笑つて歩いたのだらうか  
私の知る母は、いつだって強いその母の通つた門前で切なくなつた  
門前で、風で揺れる水仙を、母も見たのだらうか  
誰のことを思い出すのだらうか  
私の知らない頃の母  
あの山を眺めただらうか  
何度眺めただらうか  
この町を出るとき  
何を思つたのだらうか  
私は思う  
今の母さんは、幸せですか

## 詩部門(小学生の部)

**大賞**  
城崎小学校 五年 田 川 遥  
「また来てね」  
「ただいま。」  
帰ってくる  
いつもとちがう  
いいにおい

げんかんを見まわすと  
水仙の花が  
かざつてある  
つぼみだった花が  
どんどんさいていくと  
においもどんどん  
強くなつていく

学校から  
帰ってきて  
水仙のおいが  
ふわつてするのが  
毎日  
楽しみになつていく



花がさきおわつて  
花びんをかたづけると  
そこだけ  
なんだかさみしい感じ  
学校から  
帰ってきて  
げんかんってこんなにおい  
だったっけ？

**奨励賞**  
福井商業高等学校 三年 宇 佐 美 梨 乃  
北陸高等学校 三年 上 野 晃 平

**佳作**  
仁愛女子高等学校 二年 藤 田 中 津 子  
仁愛女子高等学校 二年 西 岡 茉 倫  
仁愛女子高等学校 二年 宇 野 遥 香  
丹生高等学校 一年 藤 沢 佑 大  
北陸高等学校 三年 前 田 奈 津 美

## 詩部門(一般の部)

**大賞**  
大阪府吹田市 横 野 博  
「北陸の旅・前夜祭」  
雪の降る  
潮風匂う町  
が 好き  
そう言っていた末娘  
青春18キップを手に入れた  
一緒に行けたらいいのに…:ネ  
生活という宿命に繋がれて  
父ちゃんは  
子どもたちが演じる  
道化芝居の無邪気さに  
爛冷めのお猪口の底で苦笑い  
越前海岸にも行くのかい  
古里帰りのついで  
だから:  
言い訳をする母ちゃんに  
横からでしゃばる  
ナルシストの次男坊  
そうそう兄貴には貸しがあつた

もともどつた  
だけなのに  
なんだか  
とてもものたりない  
少しの間  
だつたけど  
家族みたいに  
そんな感があつて  
水仙の花つて  
すこいなつて思つた  
来年になったら  
また  
水仙ちゃん  
帰ってきてくれるかな

城崎小学校 五年 濱 野 充 志  
城崎小学校 四年 親 崎 ち の

**佳作**  
糸生小学校 四年 田 中 来 実  
糸生小学校 五年 渡 辺 優 衣  
四ヶ浦小学校 三年 上 野 由 芽  
四ヶ浦小学校 三年 川 崎 穂 生  
織田小学校 六年 森 崎 達 哉

## 詩部門(中学生の部)

**大賞**  
越前中学校 二年 新 井 理 友  
「紅」  
いつもの場所で  
蟹を買ってきた母  
帰ってきた母の顔は  
紅に染まっていた

たばこを吹かし  
黄色のストラップをちらつかせ  
喰いそびれた 越前蟹の  
くやしさを  
幾つになつても忘れない  
そんなこんな空騒ぎ  
抒情のつもりが とんだ家族の  
B級パラダイス!  
それでも 笑顔のあるひと時に  
ホッとする

微笑みの優しさと哀しみ  
遠ざかる 青春という言葉の  
ぶかっこうな呪文  
(これでいいのだ:)  
と 父ちゃんは  
ほろ酔いのなかで納得するように  
うなずいて  
それはそうと  
嬉しそうにお泊りセットを  
揃えていた爺ちゃんは  
ゆであがったのか  
まだ お風呂から  
出てこない

**奨励賞**  
福井県越前市 蓑 輪 すゝ子  
京都市西京区 戸 田 和 樹  
愛知県小牧市 駒 瀬 知 里

**佳作**  
岐阜県岐阜市 後 藤 順  
石川県金沢市 西 森 茂 夫  
大阪市鶴見区 清 崎 進 一  
福井県美浜町 森 川 良 美  
大阪府北区 鹿 島 由 美